

絹遺産群

(ぐんま絹遺産)

古くから養蚕・製糸・織物業が盛んだった群馬県は、明治時代に入るといち早く近代的手法を取り入れて世界的な絹織物の産地となります。地域振興や観光に役立てるため、それら県内に残る養蚕・製糸・織物関連の建物や文化などを対象に登録がすすんでいます。桐生では県内最多となる18件が登録されています。(平成26年3月31日現在)



赤城型民家

A

桐生市新里町鶴ヶ谷460-1 ぐんま昆虫の森構内
☎0277-74-6441 (ぐんま昆虫の森)

赤城山南麓に多く見られる茅葺き屋根の前面中央を切り上げた建築様式で、屋根裏を養蚕に利用するために光と風を取り入れやすい構造になっています。

新里
エリア



MAEHARA20th

B

桐生市広沢町6-850-5 開 お問い合わせください
料 500円
交 北関東 太田・桐生ICより車で15分
☎0277-46-1111

MAEHARA20thは、旧合名会社飯塚織物工場跡を活用したクラシックカーの博物館です。飯塚織物工場は機械設備が充実した個人経営工場の先駆けで、輸出向けの高級織物を生産していました。

川相広
エリア



日本織物株式会社発電所跡 及び煉瓦積遺構 C

桐生市織姫町6-1 本町
☎0277-46-1111 エリア

交 桐生駅より徒歩15分

日本織物株式会社が明治22年に運転を始めた水力発電施設跡で、現在残っているものは大正期のもの。工場や寄宿舎だけでなく、桐生市(当時は町)内の電灯にも利用されました。

本町
エリア

交 桐生駅より
徒歩10分

桐生市内で大規模な織物工場を操業していた金善織物会社が、大正10年ごろに建てたビルで、事務所として使用されていました。地上4階、地下1階建てで、県内でも初期の鉄筋コンクリート造りの建物であり、当時の桐生新町のシンボルの一つでした。



かなぜん
金善ビル F
桐生市本町5-345
☎0277-46-1111



旧模範工場桐生燃糸合資会社 事務所棟(絹燃記念館) D

桐生市巴町2-1832-13 本町
☎0277-44-2399 エリア

開 9:00~17:00 料 大人 150円 こども 50円

交 桐生駅より徒歩4分

大正6年に建築された燃糸工場事務所棟で、県内最古の洋風石造建造物です。かつては敷地内にノコギリ屋根工場が並び、糸の「燃り掛」を機械化した、全国6カ所の「模範工場」の一つでした。現在は桐生市の郷土資料を展示しています。



旧堀祐織物工場 E

桐生市巴町1-1126 本町
☎0277-46-1111 エリア

交 桐生駅より徒歩5分

堀祐織物工場は、綿糸に人造絹糸、経糸に絹を使用し独特のリボン織の開発に成功しました。現存する石造のノコギリ屋根工場は、外壁を大谷石、内部を漆喰塗で仕上げられています。現在は、美容室として利用されています。



後藤織物 G

桐生市東1-11-35 本町
☎0277-45-2406 エリア

開 見学は要予約 料 300円

交 桐生駅より徒歩15分

現在も織物生産を行っている後藤織物。現存する木造のノコギリ屋根工場のほか糸蔵、織物倉庫などは、織物生産のシステムをそのまま現しており、予約すれば見学も可能です。



森秀織物 H

桐生市東4-2-24 本町
☎0277-45-3111 エリア

交 桐生駅より徒歩15分

木造鉄板葺きの3連のノコギリ屋根工場は、現在も稼働している工場です。高級織物であるお召しの技術を活かし、文楽人形の衣装や歌舞伎の装束などを織るなど、桐生織物の伝統的技術の復元とその継承に努めています。